

# 青森競輪事業の現状

平成26年6月  
青森市財務部競輪事業所

※ 更新ページの右上に★マークを記載している

# 競輪事業の目的

◆ 競輪事業は、自転車競技法（昭和23年法律第209号）に基づき、

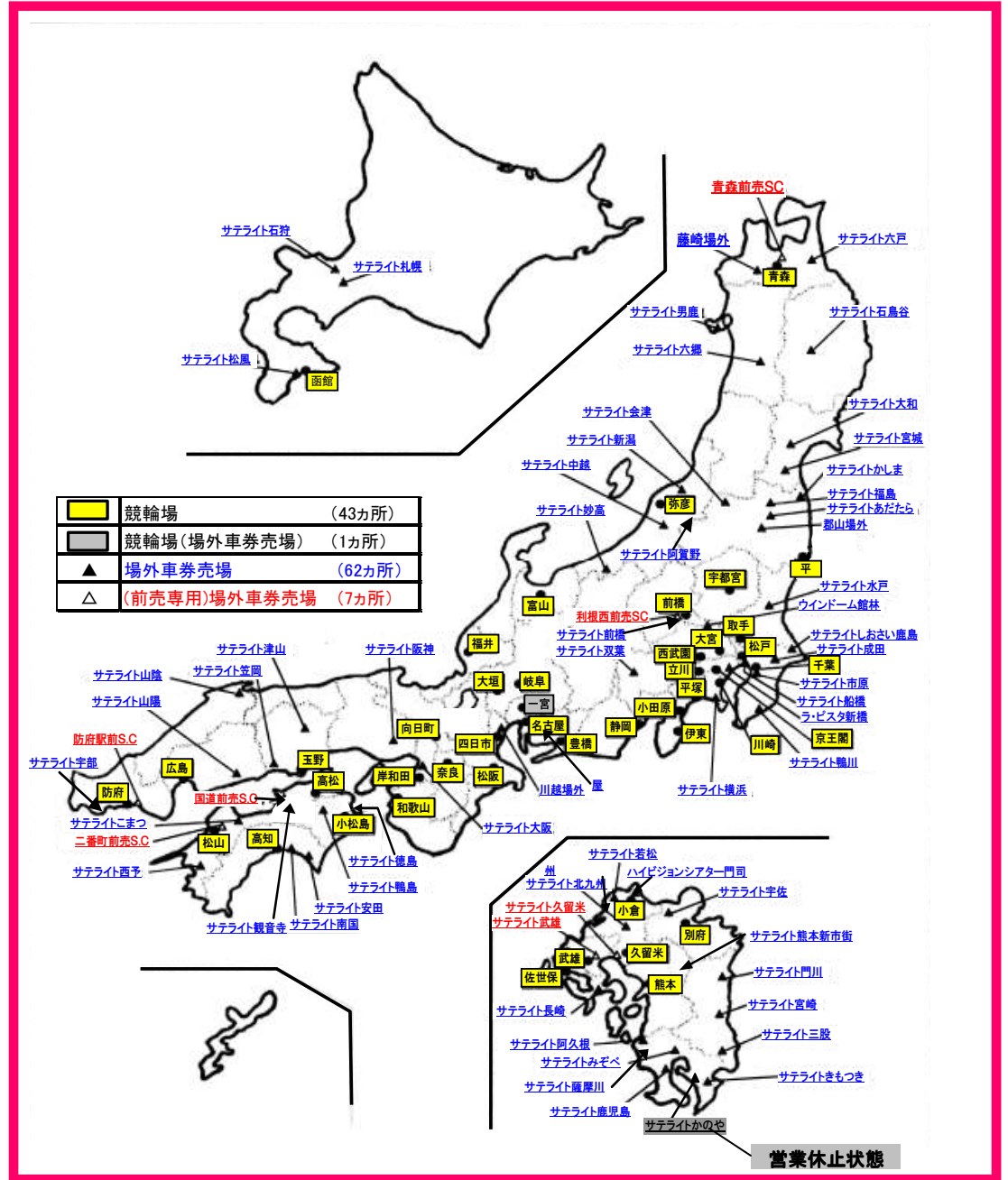
- ① **自転車その他機械工業の振興**
- ② **体育、社会福祉など公益の増進**
- ③ **地方財政の健全化**

を目的として、都道府県・市町村が実施。

◆ 平成26年4月現在、45地方公共団体が、43カ所の競輪場にて実施。  
(H26.4月から、一宮競輪場が場外車券売場化)

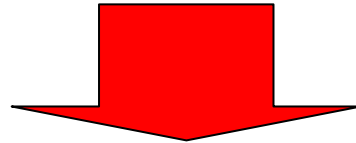
◆ 場外車券売場数は69カ所(※)。  
(うち、前売専用は7カ所)

(※)69カ所=(営業中)68カ所+(休止)1カ所



営業休止状態

競輪の実施(車券発売)＝本来は「賭博罪」にあたる行為



- ◆ 売上の一部を「補助事業」という形で広く社会還元を行うことを前提に、地方公共団体に限って例外的に競輪を実施することが認められている。
- ◆ 地方公共団体から納められる交付金は、広く社会還元を行うための原資となっており、これによって、競輪を実施する法的正当性が維持されている。
- ◆ 地方公共団体が行う、競艇、競輪、地方競馬、オートレースは、法律、制度ともに同様の仕組みとなっている。
- ◆ しかし、中央競馬は、かつて国が行っていたが、現在は特殊法人が行っており、国庫納付(畜産振興、社会福祉)による社会還元を行っている。

# 3

## 青森競輪の施設概要

### 本場



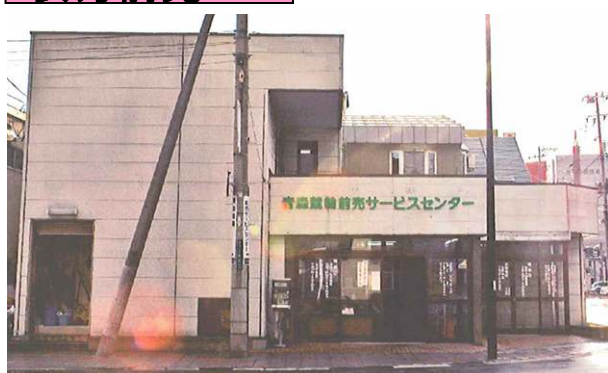
竣工	昭和57年10月30日 敷地面積 220,000㎡
所在地	青森市新城平岡 (青森駅から車で30分)(新青森駅から車で12分)
収容人員 【H25入場者数】 年間: <b>185,112人</b>	総収容人員 6,106人 一般観覧席 メインスタンド2,919席／北側スタンド1,576席 特別観覧席 746席 駐車場 3,935台
発売払戻	有人94窓／自動機18台
その他	選手管理棟(宿泊可能184名、49室)、オーロラビジョン1台 場内テレビ、食堂、案内所・休憩所・手荷物預かり所 等

### 藤崎場外



竣工	昭和57年11月25日 敷地面積 43,047㎡
所在地	藤崎町藤越東一本木 (JR奥羽本線川部駅から徒歩15分)
収容人員 【H25入場者数】 年間: <b>389,893人</b>	総収容人員 2,813人 一般観覧席 972席／特別観覧席 57席 駐車場 1,702台(借上)
発売払戻	有人39窓 / 自動機17台
その他	9面マルチシステム2台、場内テレビ、食堂、案内所 等 地元対策として、藤崎町に一定額(前々年度の車券売上額の0.5%)を納付。

### 安方前売SC



竣工	昭和61年10月9日 敷地面積 205㎡
所在地	青森市安方一丁目(青森駅から徒歩3分)
収容人員 【H25入場者数】 年間: <b>261,089人</b>	総収容人員 70人 (非滞留型) 駐車場34台(借上)
発売払戻	有人5窓／自動機3台
その他	地元対策として、2階を地区集会所として使用

## 4

## 主な市内公益施設利用者数(参考)

施設名	H24利用者数
アウガ	約4,582,000人
(うち市民図書館)	(約600,000人)
観光物産館アスパム ※	約1,300,000人
道の駅なみおかアップルヒル ※	約687,000人
青森県立美術館 ※	約313,000人
三内丸山遺跡 ※	約307,000人
文化会館	約338,000人
浅虫水族館 ※	約299,000人
八甲田ロープウェイ ※	約294,000人
メモリアルシップ八甲田丸 ※	約98,000人

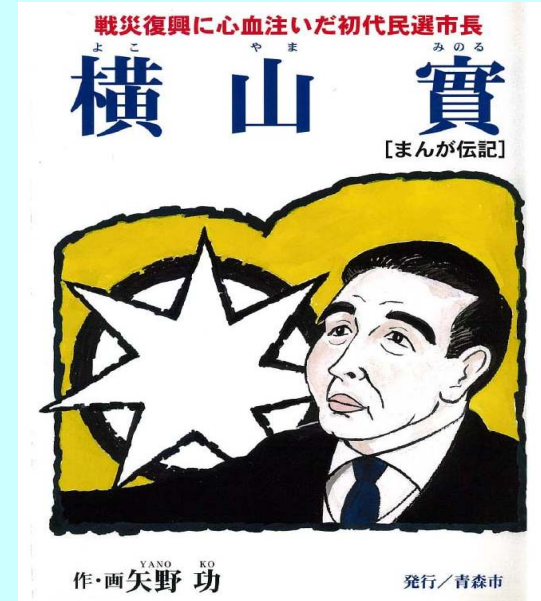
※:青森県観光入込客統計(1月~12月)、それ以外は年度集計(4月~3月)。

## 5

## 青森競輪の歴史(主なもの)

S25年1月	競輪場設置の許可を受ける。(全国で46番目) 同年2月、競輪施行者の指定を受ける。
25年6月	第1回市営青森競輪開催。(現合浦公園)
28年4月	弘前場外車券売場開設。(弘前市徳田町) 同年8月、五所川原場外車券売場開設。(五所川原市旭町)(同年11月、専用電話不許可により、青森市へ移転のため閉鎖)
29年4月	青森場外車券売場開設。(青森駅前)
30年8月	青森場外車券売場が八戸市へ移転。(当分休止)
47年3月	弘前市から移転要求を受け、弘前場外車券売場を廃止。同年9月、藤崎場外車券売場を開設。
51年6月	競輪場移転予定地、新城財産区有地の譲与を受ける。
57年10月	合浦公園でのサヨナラ競輪。
58年4月	競輪場・藤崎場外車券売場 新築オープン現在に至る。
61年10月	安方前売サービスセンター開設。
63年7月	特別競輪「全日本選抜競輪」を初めて開催。 <b>(以降、H2年、5年、7年、10年に開催)</b>
H 5年11月	年間売上額508億円となる。(青森競輪史上最高)
13年7月	特別競輪「寛仁親王牌 世界選手権記念トーナメント」を初めて開催。 <b>(以降、H17年、21年に開催)</b>
19年4月	民間事業者に競輪開催業務全般を包括委託。 <b>(第1期:H19~H25 第2期:H26~H32)</b>
24年3月	青森競輪の今後のあり方が“当面存続”の結論。
24年10月	ミッドナイト競輪の開催、屋外型の競輪場では全国初。

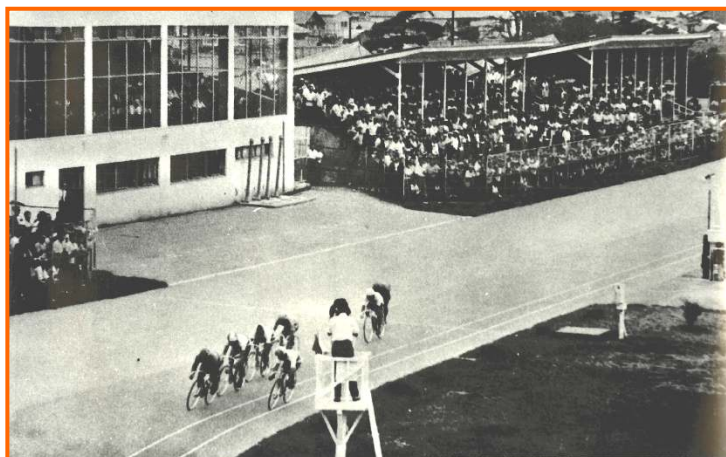
まんが伝記「戦災復興に心血注いだ初代民選市長・横山實」(抜粋)



全景1



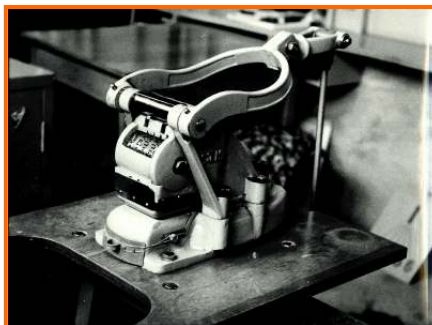
全景2

レースの様  
と観客席

ゴール前



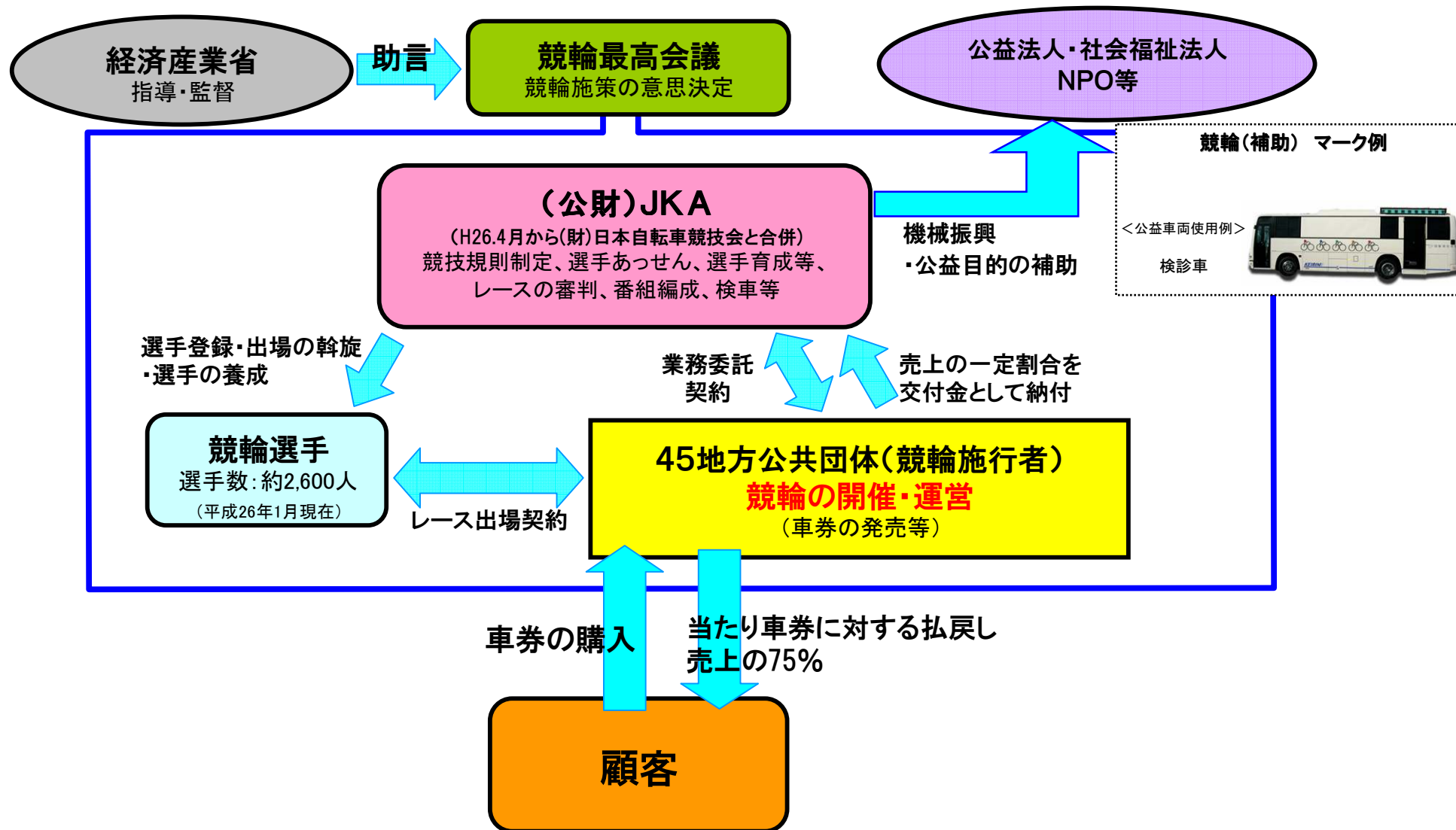
当時の発券機



当時の車券







(注)競輪施行者間でも車券発売委託を行っている。また、H26年4月現在で、函館市、青森市、埼玉県、松戸市、千葉市、富山市、静岡市、豊橋市、四日市市、奈良県、岸和田市、高知市、北九州市、佐世保市は民間事業者に開催業務全般について包括委託を行っている。

## 趣旨

競輪及びオートレースの売上額の継続的な減少による施行者(自治体)の収支の悪化及び競輪に関する事業仕分け(平成22年5月)の指摘(注1)を踏まえ、**交付金制度の改革を行うとともに、事業規制の大幅な見直しを通じて施行者の事業運営の自主性及び自由度を高めるなど、競輪等の事業運営及び経営の改善に資するための制度改正を行う。**

(注1)①特定交付金還付制度を廃止し、交付金率を引き下げること、②利益ベースによる交付金納付

## 措置事項の概要

## 1. 交付金制度改革

## (1) 特定交付金還付制度の廃止

現行の特定交付金還付制度(平成24年3月31日までの時限措置)は延長せず、廃止する。

## (2) 交付金率の引下げ

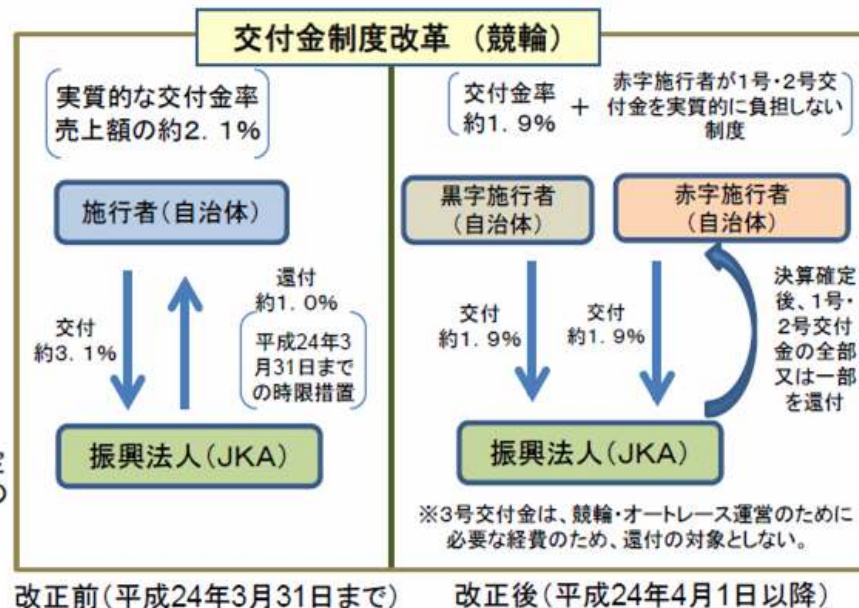
施行者から振興法人((財)JKA)に対する交付金負担が実質的に軽減されるように、交付金率の引下げを行う。

- 競輪: 実質約2.1%(改正前)→約1.9%(改正後)
- オートレース: 実質約2.4%(改正前)→約2.2%(改正後)

## (3) 赤字施行者が1号・2号交付金を実質的に負担しない制度の導入

施行者は、収支決算において赤字(交付金納付後の営業活動収支ベース)が確定した場合、既に納付した1号・2号交付金(注2)の額を限度として、当該赤字相当額の交付金の還付を受けることができるものとする。

(注2)1号交付金: 機械振興目的に活用、2号交付金: 公益増進目的に活用



## 2. 事業規制の大幅な見直し

## (1) 的中者に対する払戻率の範囲拡大(75%から70%へ)の下限率引下げ)

勝者投票及び勝車投票の的中者に対する払戻率の下限を現行の75%から70%に引き下げ、施行者の自主的判断により払戻率を設定できる範囲を拡大する。

## (2) 開催回数・開催日程の規制の廃止

①年間開催回数の下限規制(注3)、②開催の日取り調整に関する経済産業大臣の指示権限を廃止し、施行者の事業運営の自由度を高める。

(注3)「1競輪場・1オートレース場当たりの年間開催回数」及び「1施行者当たりの年間開催回数」の下限規制

## 3. 競輪・オートレース活性化のための関係者の連携の促進

関係者(施行者、振興法人、選手その他の関係者)は連携・共同して、競輪・オートレースの活性化に資する方策を検討・実施するように努めるものとする。また、経済産業大臣は必要に応じ、かかる検討・実施に関し助言を行うことができるものとする。

## 競輪業界挙げての構造改革の実現を望む

～自転車競技法改正法の施行に当たり～(抜粋)～

経済産業省 製造産業局 車両課長  
間庭 典之

平成24年4月1日「自転車競技法及び小型自動車競走法の一部を改正する法律」が施行された。改正法の趣旨は、競輪及びオートレースの売上げの継続的な減少とそれに伴う施行者収支の悪化という厳しい事業環境を踏まえ、施行者の事業経営の改善とより自主的かつ自由度の高い事業運営を実現することにある。そのため、改正法は、

- (1) 交付金制度改革
- (2) 事業規制の大幅な見直し
- (3) 関係者の連携による事業活性化の促進

という「3つの柱」をその内容としている。

今回の改正法では、赤字施行者が既に納付した1号・2号交付金のうち赤字相当額の還付を受けることができる制度を導入した。これは、売上げを基本とする交付金算定方式の一部に、収益の有無という新たな概念を取り入れ、施行者に収益がなければ実質的に1号・2号交付金を負担しないで済むとするものである。この制度は、赤字施行者の交付金負担を相当程度軽減するものであるが(注:3号交付金は黒字・赤字を問わず全施行者が等しく負担する)、もとより、赤字施行者の単なる救済を目的としたものではなく、赤字施行者が赤字を出し続け交付金の還付を継続的に受ける状態を許容することを意図したものではない。

赤字施行者は、納付した1号・2号交付金の全額の還付を受けるとすれば、競輪本来の事業目的である「機械振興」「公益増進」「地方財政の健全化」のいずれも達成しない状態となる。このような目的不達成の状態が単年度で現出することにはやむを得ない面もあるが、仮にこれが複数年度にわたり継続する場合には、刑法の賭博罪の例外として特別に競輪を実施している実質的な意義が失われていると解さざるを得ないことにもなる。このため、仮に施行者において競輪の事業目的のいずれも達成しない状態が複数年度にわたり継続する場合には、経済産業省は、当該施行者の自主的な努力を尊重しつつも、自転車競技法の法目的の達成を確保する観点から、当該施行者に対し、事業収支改善策の検討・実施に関し必要な助言や指導等を行い、一層の努力を促すことに躊躇するものではない。

施行者たる地方自治体では、競輪事業に対する地方議会や住民の監視により、赤字を出し続ければ経営責任を問われることになるため、仮に今回の制度により1号・2号交付金の還付を受けるとしても、赤字施行者がこれに依存して黒字化努力を緩めることはないと考えている。赤字施行者には、今回の制度により還付される交付金も活用しつつ、より積極的に競輪活性化に取り組まれるとともに、更なる経営改善努力に傾注されることにより、早期に黒字化を果たされることを強く望むものである。

(平成24年4月4日 記)

# 10 平成24年度競輪施行者別一般会計への繰入金の状況

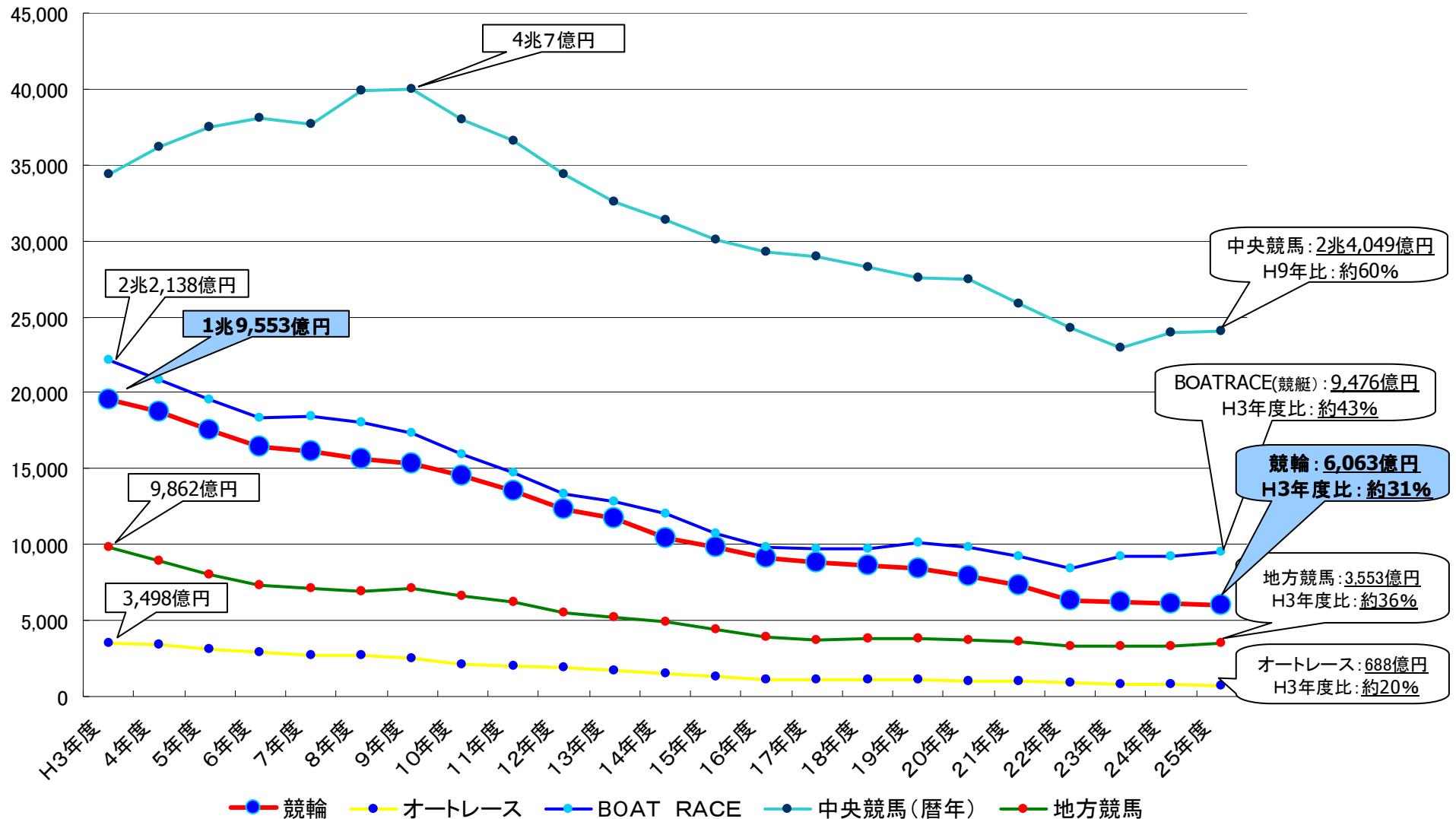
(単位:円)

項目 施行者名	車券売上高	一般会計への繰入金	収益分配金
函 館 市	18,090,782,000	0	0
青 森 市	13,254,080,000	100,000,000	0
い わ き 市	15,970,688,100	350,000,000	0
西 蒲 原 郡 弥 彦 村	14,973,336,900	0	0
前 橋 市	23,393,352,700	100,000,000	0
宇 都 宮 市	12,971,768,700	200,000,000	0
茨 城 県	9,085,411,900	100,000,000	0
取 手 市	1,133,333,600	20,000,000	0
埼 玉 県	27,510,093,600	109,605,422	0
立 川 市	23,334,265,400	10,000,000	0
東京都十一市競輪事業組合	29,910,816,700	0	330,000,000
松 戸 市	15,623,420,400	100,000,000	0
千 葉 市	11,727,016,100	100,000,000	0
川 崎 市	15,857,101,700	110,000,000	0
神 奈 川 県 競 輪 組 合	6,916,554,300	0	0
平 塚 市	18,022,259,300	250,000,000	0
藤 沢 市	1,994,801,900	60,000,000	0
小 田 原 市	10,452,171,600	100,000,000	0
伊 東 市	13,886,310,100	0	0
静 岡 市	13,518,209,700	150,000,000	0
豊 橋 市	10,997,008,600	50,000,000	0
名 古 屋 競 輪 組 合	14,583,004,100	0	100,000,000
一 宮 市	9,488,481,400	0	0
岐 阜 市	10,232,662,000	200,000,000	0
大 垣 市	10,707,776,200	0	0
四 日 市	18,322,033,300	100,000,000	0
松 阪 市	8,545,400,500	0	0
富 山 市	10,358,379,800	40,000,000	0
福 井 市	9,147,106,500	100,000,000	0
京 都 府	10,466,126,300	0	0
奈 良 県	11,294,384,300	0	0
和 歌 山 県	10,893,236,800	150,000,000	0
岸 田 市	14,893,427,300	90,000,000	0
玉 野 市	10,973,039,300	0	0
広 島 市	11,429,780,000	0	0
防 府 市	9,487,476,600	0	0
高 松 市	10,056,497,000	10,000,000	0
小 松 島 市	9,674,991,300	0	0
松 山 市	22,038,159,000	0	0
高 知 市	10,752,596,700	0	0
北 九 州 市	22,266,002,500	0	0
久 留 米 市	14,057,468,300	100,000,000	0
武 雄 市	11,093,505,600	0	0
佐 世 保 市	7,556,696,100	0	0
別 府 市	10,492,217,800	300,000,000	0
熊 本 市	11,146,895,500	200,000,000	0
合 計	608,580,127,500	3,199,605,422	430,000,000

# 全国の各公営競技の売上(推移)



- ◆公営5競技の売上高は、減少傾向となっている。
- ◆直近の競輪の売上高は25年度実績でピーク時(平成3年度)の31%となっている。

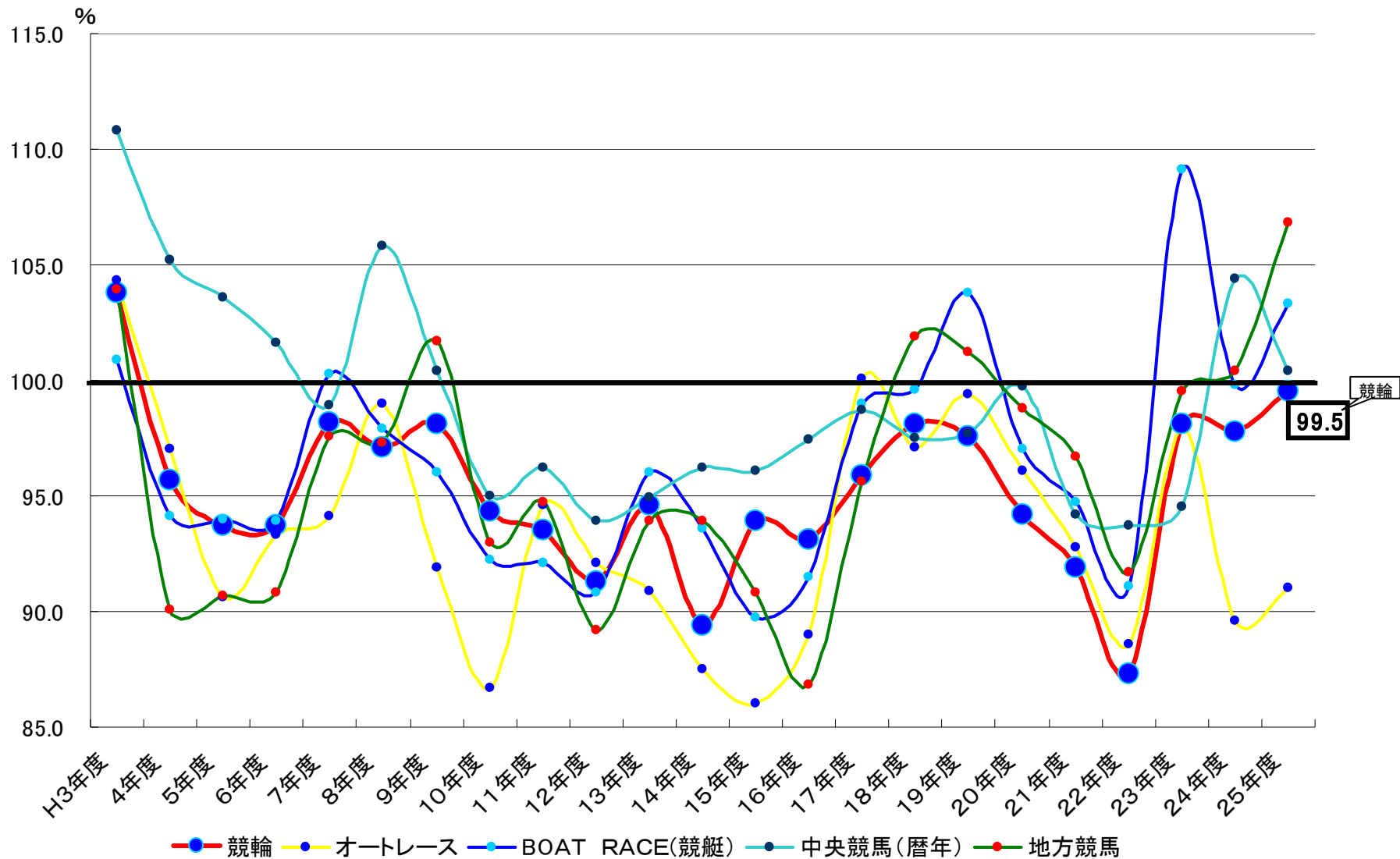


参考: 競輪統計資料 JKA

# 12 全国の各公営競技の売上(前年度比増減率)

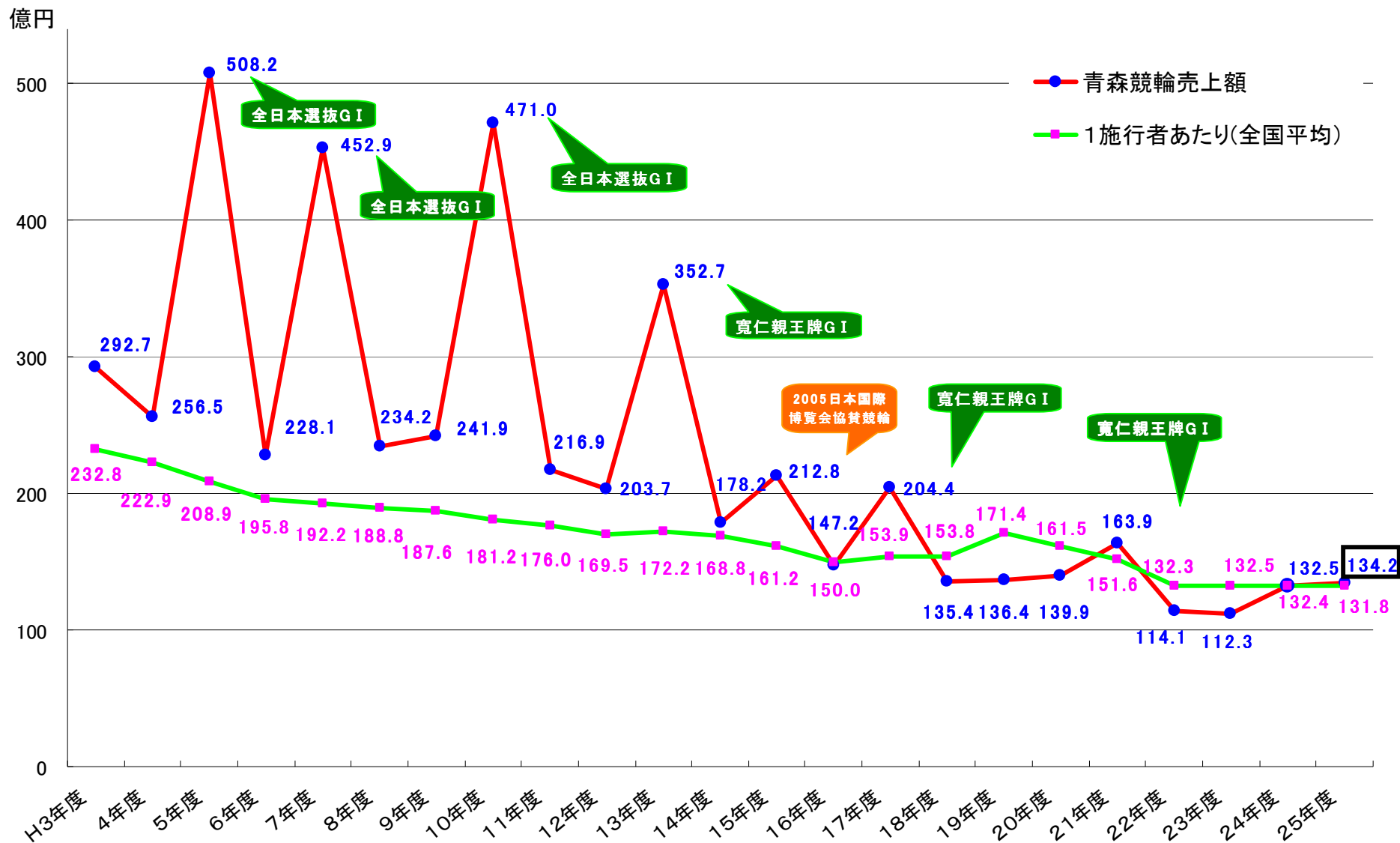


◆競輪の落ち込みが大きく、平成4年度以降、前年度比割れとなっている。

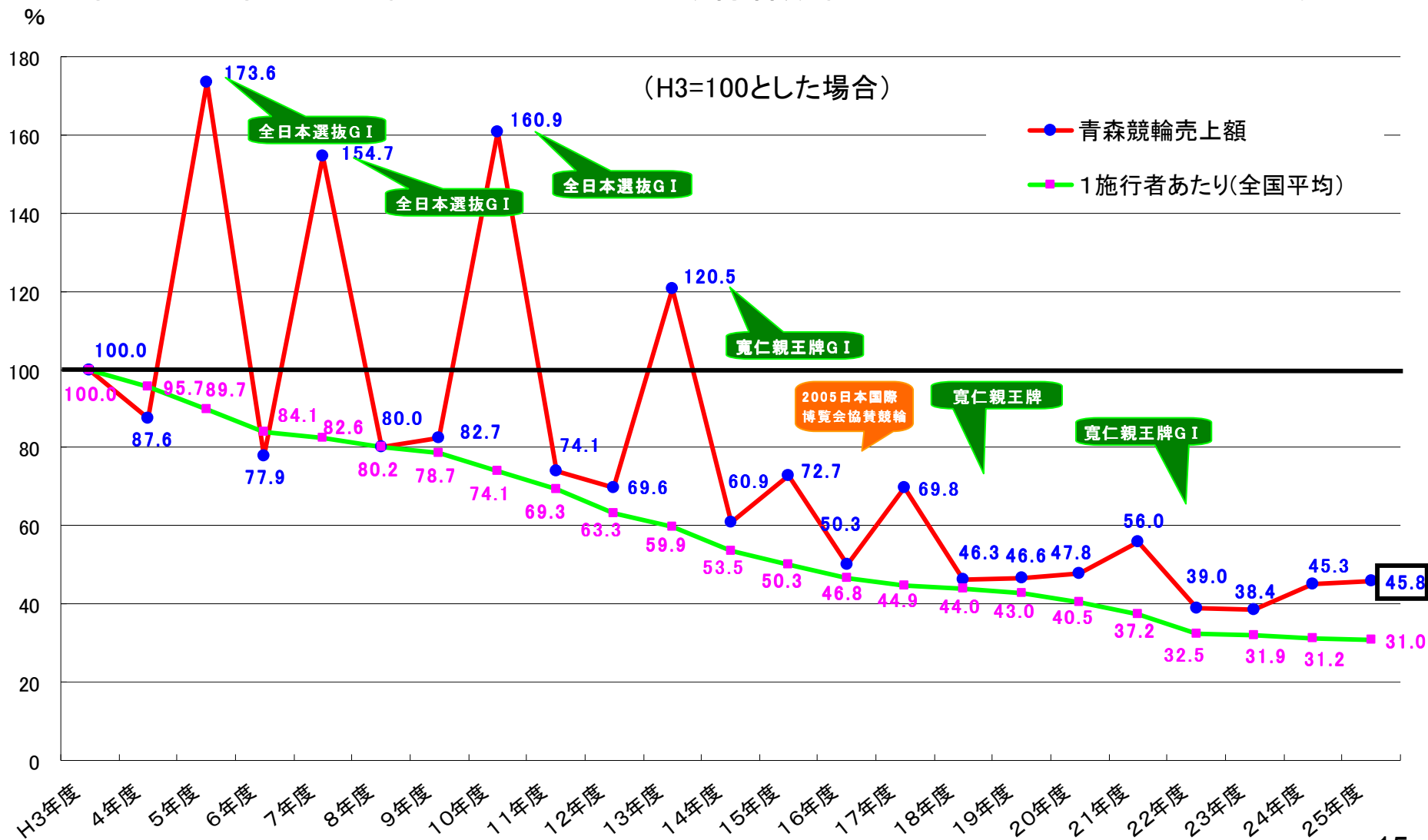


参考:競輪統計資料 JKA

- ◆青森競輪の売上高は、全国と同様に減少傾向となっている。
- ◆平成18～23年度は、平成21年度を除き、全国平均を下回っていたが、平成24～25年度は全国平均を上回った。



- ◆ 全国の売上高の増減率は、平成3年度をピークに減少を続け、H24年度にはピーク時の31.2%にまで落ち込む状況となっている。
- ◆ 青森競輪の売上高の増減率は、ピーク時から減少傾向にあるが、H24年度には、全国平均が前年より落ち込んでいるなか、青森競輪は6.9ポイント上がっている。





## 15

## 青森競輪みちのく記念GⅢの売上状況(記念競輪比較)

(単位:円)

22年度			23年度			24年度			25年度		
順位	競輪場	GⅢ車券売上高	順位	競輪場	GⅢ車券売上高	順位	競輪場	GⅢ車券売上高	順位	競輪場	GⅢ車券売上高
1	富山	8,657,343,000	1	立川	8,689,506,100	1	平塚	8,002,308,900	1	平塚	8,851,795,300
2	立川	8,534,526,500	2	小田原	7,947,657,800	2	大宮	7,676,170,400	2	立川	8,808,374,000
3	平塚	8,308,787,400	3	和歌山	7,495,418,300	3	奈良	7,123,644,900	3	松戸	8,042,621,400
4	武雄	8,170,316,600	4	別府	7,429,343,700	4	川崎	7,041,101,000	4	静岡	7,133,473,200
5	西武園	7,891,150,300	5	京王閣	7,331,118,600	5	いわき平	7,033,776,000	5	和歌山	7,115,487,800
6	熊本	7,607,842,900	6	富山	7,216,647,200	6	京王閣	7,017,196,600	6	いわき平	6,998,355,300
7	静岡	7,605,587,400	7	久留米	7,081,109,300	7	玉野	6,999,493,400	7	伊東温泉	6,713,229,200
8	和歌山	7,522,071,800	8	千葉	6,961,910,400	8	伊東温泉	6,972,244,000	8	川崎	6,681,302,400
9	京王閣	7,192,344,300	9	一宮	6,939,727,800	9	和歌山	6,948,517,800	9	玉野	6,625,924,800
10	弥彦	7,184,769,900	10	高松	6,937,661,800	10	静岡	6,920,244,500	10	佐世保	6,588,626,500
11	高松	7,112,025,500	11	名古屋	6,917,640,300	11	四日市	6,900,718,000	11	久留米	6,468,829,800
12	小田原	7,106,289,700	12	玉野	6,818,536,900	12	富山	6,712,065,200	12	武雄	6,456,082,400
13	松戸	7,104,082,300	13	大宮	6,789,678,400	13	高松	6,694,543,700	13	前橋	6,416,535,300
14	四日市	6,917,761,400	14	いわき平	6,778,780,900	14	豊橋	6,670,522,200	14	西武園	6,415,742,400
15	伊東温泉	6,887,008,200	15	奈良	6,728,605,700	15	小松島	6,637,773,900	15	京都向日町	6,401,562,600
16	取手	6,822,899,100	16	松山	6,698,029,100	16	熊本	6,615,653,800	16	大宮	6,387,307,800
17	佐世保	6,817,969,200	17	函館	6,552,043,200	17	高知	6,566,083,500	17	奈良	6,386,084,000
18	大宮	6,796,421,900	18	西武園	6,551,119,200	18	岐阜	6,539,822,300	18	宇都宮	6,359,708,900
19	防府	6,746,794,100	19	宇都宮	6,547,181,400	19	岸和田	6,537,534,700	19	松山	6,357,437,200
20	福井	6,725,017,700	20	観音寺	6,534,973,300	20	青森	6,527,268,400	20	大垣	6,280,499,400
21	函館	6,709,225,400	21	伊東温泉	6,508,770,200	21	武雄	6,477,370,600	21	岐阜	6,248,095,300
22	川崎	6,707,296,600	22	松戸[茨城県]	6,484,419,100	22	宇都宮	6,428,782,800	22	青森	6,237,727,600
23	千葉	6,686,484,500	23	大垣	6,478,397,600	23	千葉	6,406,585,800	23	熊本	6,218,641,000
24	青森	6,677,223,700	24	京都向日町	6,467,788,600	24	広島	6,281,574,000	24	四日市	6,164,144,900
25	一宮	6,675,202,500	25	豊橋	6,416,355,100	25	西武園	6,200,507,700	25	小田原	6,155,296,700
26	京都向日町	6,650,432,400	26	福井	6,401,930,300	26	別府	6,181,818,100	26	千葉	6,138,399,900
27	岐阜	6,570,936,500	27	青森	6,383,934,600	27	久留米	6,018,124,400	27	小松島	6,092,143,300
28	広島	6,549,105,300	28	佐世保	6,330,700,000	28	松戸	5,989,053,200	28	函館	5,996,399,500
29	高知	6,528,447,500	29	広島	6,304,674,700	29	大垣	5,935,061,700	29	豊橋	5,968,411,600
30	観音寺	6,441,545,000	30	松戸	6,225,758,600	30	防府	5,735,949,500	30	一宮	5,952,803,000
31	松阪	6,407,579,900	31	四日市	6,118,131,100	31	小田原	5,724,839,200	31	取手	5,907,301,900
32	大垣	6,383,702,800	32	平塚	6,047,472,600	32	松戸	5,706,783,800	32	別府	5,882,082,400
33	久留米	6,364,013,600	33	高知	6,033,557,500	33	福井	5,689,264,200	33	富山	5,866,253,200
34	豊橋	6,352,456,900	34	岸和田	5,914,807,100	34	佐世保	5,652,504,500	34	防府	5,796,168,800
35	別府	6,268,323,800	35	防府	5,654,901,500	35	一宮	5,623,751,700	35	広島	5,644,313,600
36	川崎[花月園M]	5,607,130,100	36	小田原[花月園M]	5,540,897,900	36	川崎[花月園M]	5,587,442,400	36	松阪	5,139,575,100
	岸和田	東日本大震災により中止	37	静岡	5,321,633,600	37	松阪	5,457,295,200	37	高知	5,039,320,600
	玉野		38	小松島	4,471,568,100	38	京都向日町	5,451,573,700	38	小田原[花月園]	4,987,432,700
	松山		川崎	東日本大震災により中止							

(注)「平成23年度・小松島」は、開催最終日、悪天候のため第6レースより中止。

重勝式車券売上は除く。

## 青森競輪の売上状況(その1)【本場開催】【売場別】

- ◆ 本場、藤崎場外、安方前売SCともに低下傾向、本場売上の落ち込みが大きい。
- ◆ 電話投票(主にインターネットでの車券購入)は、伸ばしている。

(単位:円)

	本場	H3比 (H3=100)	藤崎場外	H3比 (H3=100)	安方前売SC	H3比 (H3=100)	インターネット 電話投票 (電話・PC・携帯)	H3比 (H3=100)	場外車券売場	H3比 (H3=100)	全体	H3比 (H3=100)
3年度	17,174,222,200	100.0%	6,875,728,500	100.0%	1,221,045,900	100.0%	253,819,500	100.0%	3,747,306,200	100.0%	29,272,122,300	100.0%
4年度	14,557,085,100	84.8%	6,563,189,500	95.5%	1,180,255,300	96.7%	540,276,600	212.9%	2,807,684,700	74.9%	25,648,491,200	87.6%
5年度	13,053,116,900	76.0%	6,009,358,000	87.4%	1,200,578,200	98.3%	3,448,924,800	1358.8%	27,108,350,700	723.4%	50,820,328,600	173.6%
6年度	11,928,395,300	69.5%	5,390,282,400	78.4%	1,179,805,000	96.6%	797,915,800	314.4%	3,515,729,800	93.8%	22,812,128,300	77.9%
7年度	12,368,229,700	72.0%	5,275,539,000	76.7%	1,149,188,400	94.1%	2,869,222,000	1130.4%	23,628,691,800	630.6%	45,290,870,900	154.7%
8年度	10,497,609,900	61.1%	4,896,317,400	71.2%	1,147,894,000	94.0%	1,403,159,900	552.8%	5,473,072,300	146.1%	23,418,053,500	80.0%
9年度	10,103,853,800	58.8%	4,794,542,100	69.7%	1,161,281,800	95.1%	1,738,199,300	684.8%	6,396,931,100	170.7%	24,194,808,100	82.7%
10年度	9,061,953,500	52.8%	4,083,578,700	59.4%	1,104,458,100	90.5%	4,819,170,400	1898.7%	28,033,048,400	748.1%	47,102,209,100	160.9%
11年度	6,954,278,000	40.5%	3,727,327,300	54.2%	997,067,400	81.7%	2,117,705,000	834.3%	7,897,157,300	210.7%	21,693,535,000	74.1%
12年度	5,719,264,200	33.3%	3,090,216,100	44.9%	869,978,100	71.2%	2,192,621,800	863.9%	8,495,318,800	226.7%	20,367,399,000	69.6%
13年度	5,516,256,300	32.1%	2,744,894,300	39.9%	765,329,300	62.7%	3,697,860,200	1456.9%	22,542,905,300	601.6%	35,267,245,400	120.5%
14年度	4,107,466,400	23.9%	2,241,047,300	32.6%	659,465,300	54.0%	1,601,078,400	630.8%	9,206,995,100	245.7%	17,816,052,500	60.9%
15年度	3,109,449,300	18.1%	1,837,717,700	26.7%	598,282,200	49.0%	2,169,765,400	854.8%	13,563,030,300	361.9%	21,278,244,900	72.7%
16年度	2,135,710,800	12.4%	1,404,108,600	20.4%	457,856,600	37.5%	1,746,265,800	688.0%	8,975,076,500	239.5%	14,719,018,300	50.3%
17年度	1,760,856,700	10.3%	1,135,707,700	16.5%	391,006,900	32.0%	2,561,045,500	1009.0%	14,595,912,500	389.5%	20,444,529,300	69.8%
18年度	1,150,818,900	6.7%	842,216,500	12.2%	293,327,300	24.0%	1,771,822,000	698.1%	9,481,276,200	253.0%	13,539,460,900	46.3%
19年度	982,903,200	5.7%	704,885,100	10.3%	262,951,700	21.5%	1,885,778,600	743.0%	9,799,132,400	261.5%	13,635,651,000	46.6%
20年度	947,899,600	5.5%	715,941,900	10.4%	233,019,900	19.1%	2,270,662,900	894.6%	9,817,838,900	262.0%	13,985,363,200	47.8%
21年度	941,277,000	5.5%	641,334,900	9.3%	214,100,100	17.5%	2,774,381,300	1093.1%	11,820,753,800	315.4%	16,391,847,100	56.0%
22年度	687,993,700	4.0%	552,109,900	8.0%	170,545,800	14.0%	2,245,991,700	884.9%	7,753,804,000	206.9%	11,410,445,100	39.0%
23年度	600,612,600	3.5%	456,251,900	6.6%	151,471,400	12.4%	2,173,275,000	856.2%	7,845,843,900	209.4%	11,227,454,800	38.4%
24年度	580,466,400	3.4%	408,444,000	5.9%	148,933,200	12.2%	2,541,473,800	1001.3%	9,574,762,600	255.5%	13,254,080,000	45.3%
25年度	483,944,500	2.8%	356,616,700	5.2%	135,819,600	11.1%	2,984,057,400	1175.7%	9,460,514,900	252.5%	13,420,953,100	45.8%

※重勝式車券売上は、インターネット電話投票に含まれる。H5年、7年、10年、13年、17年、21年は特別競輪開催年。

## 17

## 青森競輪の売上状況(その2) [本場開催+場外開催]

- ◆ 本場開催と場外開催を合計した売上額についても低下傾向となっている。
- ◆ 場外開催についても、本場の落ち込みが大きい。

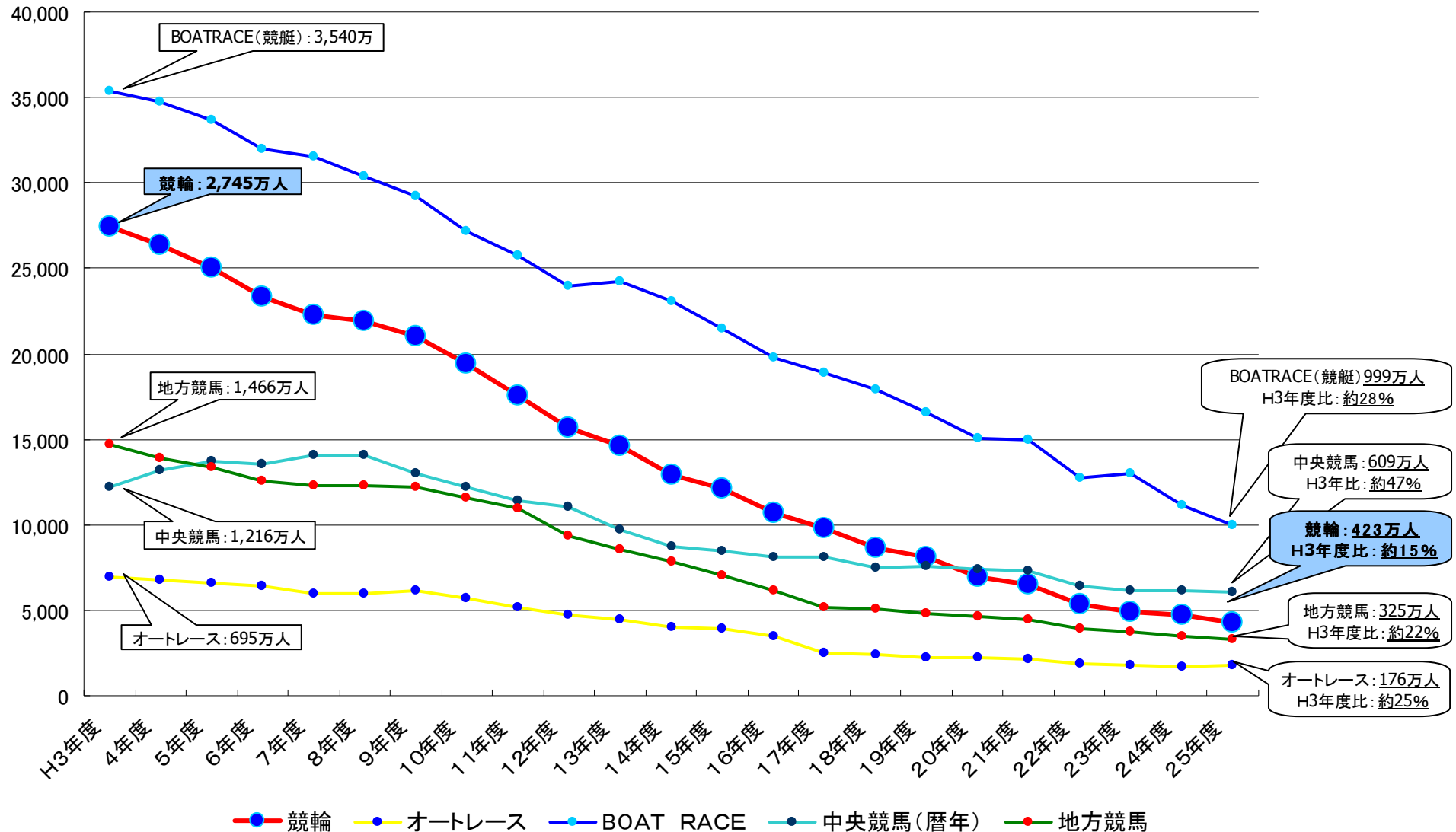
(単位:円)

	本場開催		場外開催【売場別】								合計	
	【A】	前年比	本場	前年比	藤崎場外	前年比	安方前売SC	前年比	中計【B】	前年比	【A+B】	前年比
平成14年度	17,816,052,500	-	5,863,065,100	-	5,248,504,000	-	1,579,436,000	-	12,691,005,100	-	30,507,057,600	-
平成15年度	21,278,244,900	119%	5,455,912,200	93%	5,465,221,600	104%	1,832,734,200	116%	12,753,868,000	100%	34,032,112,900	112%
平成16年度	14,719,018,300	69%	4,907,117,500	90%	5,275,698,500	97%	1,757,973,400	96%	11,940,789,400	94%	26,659,807,700	78%
平成17年度	20,444,529,300	139%	3,993,401,400	81%	4,942,941,200	94%	1,731,462,800	98%	10,667,805,400	89%	31,112,334,700	117%
平成18年度	13,539,460,900	66%	3,798,956,200	95%	5,245,587,800	106%	1,754,846,100	101%	10,799,390,100	101%	24,338,851,000	78%
平成19年度	13,635,651,000	101%	3,555,000,000	94%	4,742,054,500	90%	1,609,189,400	92%	9,906,243,900	92%	23,541,894,900	97%
平成20年度	13,985,363,200	103%	3,135,163,700	88%	4,387,606,000	93%	1,470,354,600	91%	8,993,124,300	91%	22,978,487,500	98%
平成21年度	16,391,847,100	117%	2,525,286,000	81%	3,983,957,100	91%	1,347,792,500	92%	7,857,035,600	87%	24,248,882,700	106%
平成22年度	11,410,445,100	70%	2,188,114,800	87%	3,690,636,400	93%	1,169,203,600	87%	7,047,954,800	90%	18,458,399,900	76%
平成23年度	11,227,454,800	98%	2,029,063,500	93%	3,432,333,500	93%	1,133,562,300	97%	6,594,959,300	94%	17,822,414,100	97%
平成24年度	13,254,080,000	118%	2,031,974,800	100%	3,341,302,100	97%	1,156,426,200	102%	6,529,703,100	99%	19,783,783,100	111%
平成25年度	13,420,953,100	101%	2,076,316,600	102%	3,604,184,500	108%	1,288,502,500	111%	6,969,003,600	107%	20,389,956,700	103%

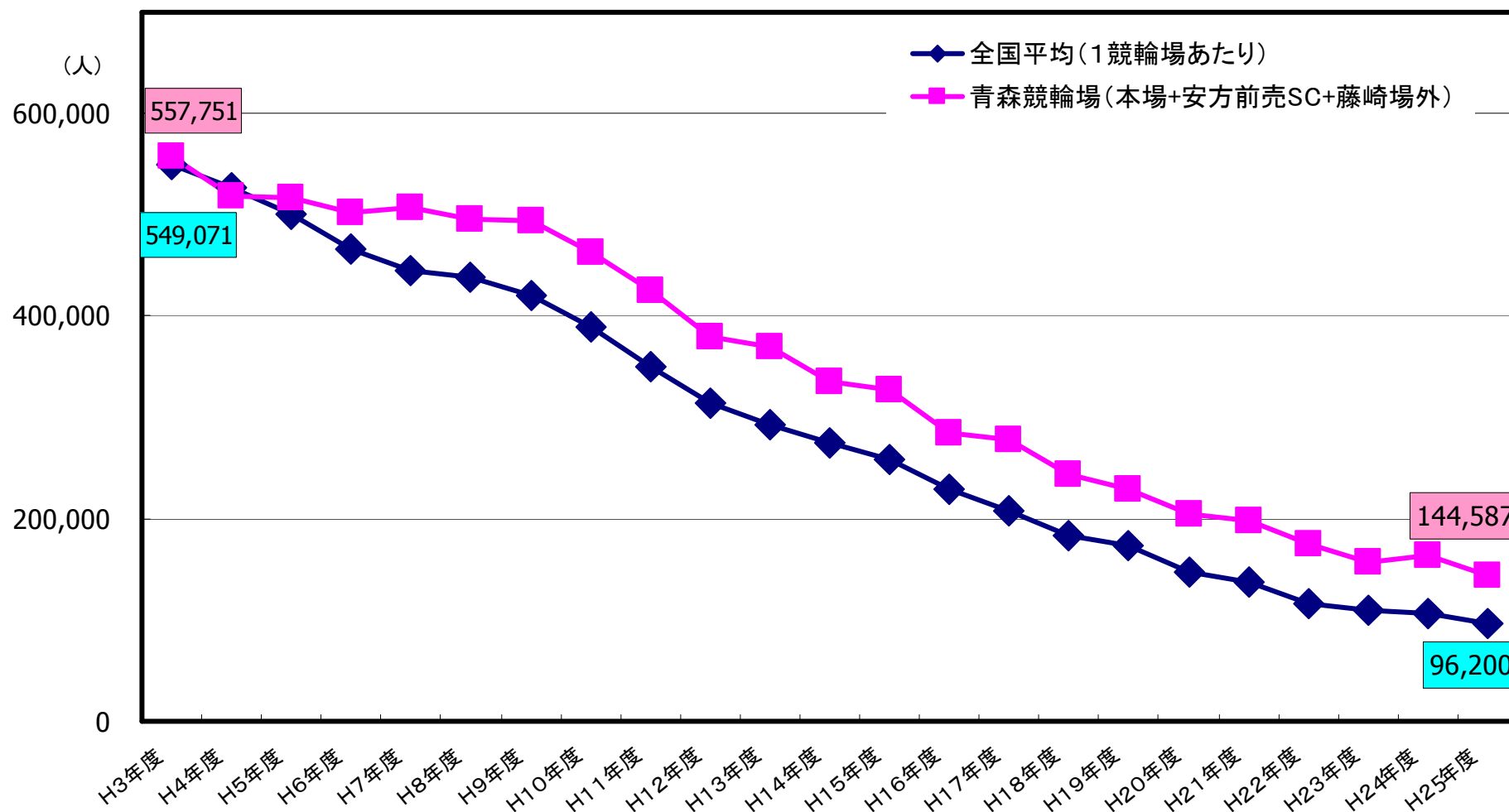
# 18 全国の各公営競技の入場者数(本場のみ)



- ◆各公営競技ともに入場者数は減少傾向。
- ◆競輪の落ち込みが最も大きい。



- ◆青森競輪場の本場開催における本場入場者数(本場+安方前売SC+藤崎場外)は、全国と同様に減少傾向。
- ◆平成25年度は、全国平均、青森競輪場ともに前年より減少している。
- ◆全国平均の入場者数を、年間48,387人(25年度比)上回っている。



## 20

## 青森競輪場の入場者数 [本場開催+場外開催]

- ◆ 本場の入場者数の落ち込みが大きい。(平成3年度の約半分)
- ◆ 藤崎場外及び安方前売SCは、15年度から18年度にかけて堅調に推移していたが、最近は減少傾向にある。
- ◆ 安方前売SCは、平成17年度以降、本場入場者数を超えている。

(単位:人)

	本場	H3年比	藤崎場外	H3年比	安方SC	H3年比	計	H3年比
平成3年度	422,950	100%	278,054	100%	183,801	100%	884,805	100%
平成4年度	375,627	89%	292,986	105%	210,854	115%	879,467	99%
平成5年度	385,033	91%	343,401	124%	246,639	134%	975,073	110%
平成6年度	402,735	95%	354,898	128%	249,996	136%	1,007,629	114%
平成7年度	420,786	99%	375,846	135%	258,736	141%	1,055,368	119%
平成8年度	429,177	101%	387,231	139%	296,972	162%	1,113,380	126%
平成9年度	409,180	97%	372,749	134%	279,851	152%	1,061,780	120%
平成10年度	415,165	98%	327,666	118%	319,963	174%	1,062,794	120%
平成11年度	370,067	87%	431,358	155%	263,865	144%	1,065,290	120%
平成12年度	333,793	79%	417,054	150%	250,826	136%	1,001,673	113%
平成13年度	326,154	77%	413,785	149%	222,797	121%	962,736	109%
平成14年度	322,902	76%	394,737	142%	227,268	124%	944,907	107%
平成15年度	325,078	77%	465,195	167%	274,821	150%	1,065,094	120%
平成16年度	314,962	74%	470,293	169%	284,517	155%	1,069,772	121%
平成17年度	294,278	70%	467,607	168%	309,254	168%	1,071,139	121%
平成18年度	287,491	68%	479,201	172%	322,643	176%	1,089,335	123%
平成19年度	268,742	64%	464,546	167%	314,034	171%	1,047,322	118%
平成20年度	257,493	61%	454,868	164%	296,400	161%	1,008,761	114%
平成21年度	231,448	55%	426,460	153%	275,050	150%	932,958	105%
平成22年度	204,680	48%	387,311	139%	245,268	133%	837,259	95%
平成23年度	188,450	45%	375,448	135%	256,728	140%	820,626	93%
平成24年度	185,664	44%	366,010	132%	265,129	144%	816,803	92%
平成25年度	185,112	44%	389,893	140%	261,089	142%	836,094	94%

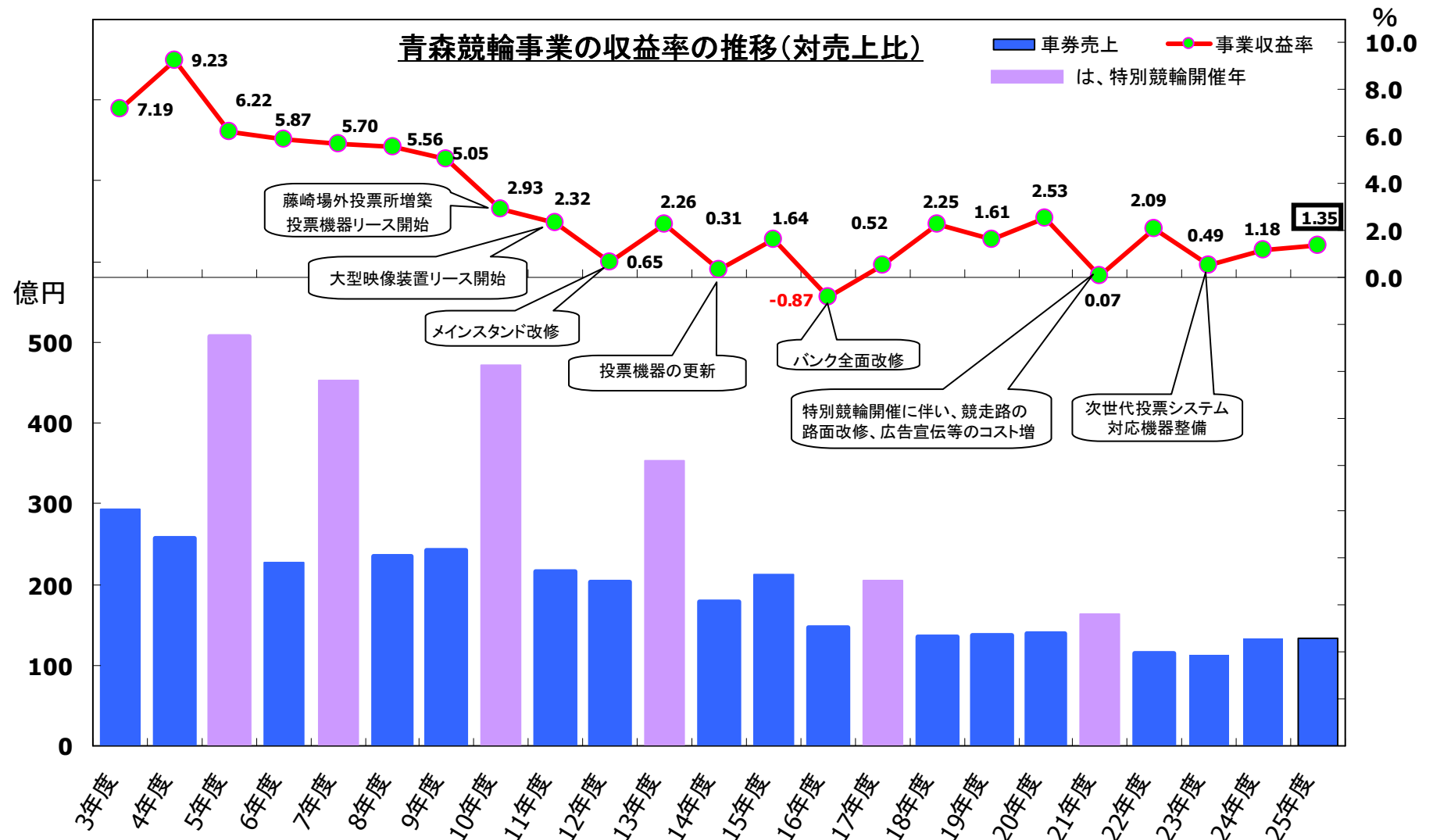
(単位:円)

	全国平均	青森競輪				
	本場	本場	藤崎場外	安方前売SC	インターネット 電話投票	場外車券売場
平成3年度	57,200	59,400	41,800	11,700		
平成4年度	54,200	57,700	40,700	11,200		
平成5年度	50,800	54,100	36,500	10,900		
平成6年度	48,200	49,600	34,300	11,200		
平成7年度	47,000	51,200	32,600	11,100		38,400
平成8年度	44,800	46,300	31,000	10,300		30,600
平成9年度	42,900	45,600	29,800	10,400		31,600
平成10年度	39,700	44,700	26,200	10,600		32,000
平成11年度	37,200	40,200	23,500	10,700		22,100
平成12年度	35,100	39,000	21,400	9,900		30,800
平成13年度	33,000	39,000	18,800	9,300		27,500
平成14年度	29,900	31,200	17,300	8,900	7,000	20,200
平成15年度	25,400	25,100	14,400	7,900	7,000	17,900
平成16年度	22,700	20,300	12,500	6,800	6,800	16,500
平成17年度	20,900	18,300	10,600	5,300	7,700	18,700
平成18年度	19,500	14,400	8,900	4,200	5,900	14,000
平成19年度	18,200	13,700	7,700	4,000	5,700	13,400
平成20年度	17,500	14,300	8,700	4,100	5,600	13,500
平成21年度	15,400	14,200	8,300	4,000	6,100	13,200
平成22年度	14,700	12,200	7,800	3,600	5,100	9,900
平成23年度	14,000	12,300	7,500	3,200	5,000	10,200
平成24年度	12,800	11,100	6,600	3,000	5,000	9,200
平成25年度	12,300	10,200	6,400	3,200	5,000	9,200

※重勝式車券は除く、斜線部分はデータがないため。

# 22 青森競輪事業の収益状況

- ◆青森競輪事業の収益率は、平成16年度までは低下の一途を辿り、平成16年度の単年度収益は、バンクの全面改修がありマイナスとなった。平成17年度以降はプラスとなっている。
- ◆平成19年度から、業務運営全般を収益保証型包括委託という形で委託をし、一定額以上の収益を確保している。(第1期:平成19年度～平成25年度 第2期:平成26年度～平成32年度)



「開催収支」・・・車券売上の75%が払戻金に充てられ、残り25%のうちから交・納付金及び選手賞金等の開催経費を差し引いたもの。  
 「事業収益」・・・「開催収支」+「開催外収支(場外開催に係る車券の受託発売等による収入や施設整備費等)」



◆昭和25年開設以来、一般会計への繰入金の総額は、約678億円。

(単位:千円)

	車券売上高 【本場開催】	事業収益		一般会計への 繰入金	基金残高	繰越金 〔次年度開催 運転資金へ〕
		金額	収益率			
昭和25年度から平成2年度				47,907,300		〔H2年度〕 2,096,860
平成3年度	29,272,122	2,105,981	7.19%	2,950,000		1,252,841
平成4年度	25,648,491	2,367,488	9.23%	2,980,000		640,329
平成5年度 ※	50,820,329	3,158,644	6.22%	2,980,000		818,973
平成6年度	22,812,128	1,338,144	5.87%	1,500,000		657,117
平成7年度 ※	45,290,871	2,580,324	5.70%	2,500,000		737,441
平成8年度	23,418,054	1,301,488	5.56%	1,500,000		538,929
平成9年度	24,194,808	1,222,359	5.05%	1,200,000		561,288
平成10年度 ※	47,102,209	1,378,292	2.93%	1,800,000		139,580
平成11年度	21,693,535	504,183	2.32%	550,000		93,763
平成12年度	20,367,399	132,926	0.65%	160,000		66,689
平成13年度 ※	35,267,245	797,041	2.26%	800,000		63,730
平成14年度	17,816,052	55,554	0.31%	100,000		19,284
平成15年度	21,278,245	348,287	1.64%	100,000		267,571
平成16年度	14,719,018	-128,644	-0.87%	70,000		68,927
平成17年度 ※	20,444,529	106,493	0.52%	80,000		26,493
平成18年度	13,539,461	305,164	2.25%	0		331,657
平成19年度	13,635,651	219,319	1.61%	18,310		532,666
平成20年度	13,985,363	354,018	2.53%	100,000	200,523	586,684
平成21年度 ※	16,391,847	11,527	0.07%	100,000	301,028	397,706
平成22年度	11,410,445	238,837	2.09%	100,000	401,430	436,141
平成23年度	11,227,454	54,687	0.49%	100,000	402,140	390,118
平成24年度	13,254,080	156,255	1.18%	100,000	472,489	376,024
平成25年度	13,420,953	181,126	1.35%	100,000	544,143	385,496
合計				67,795,610		

※は、特別競輪開催年。

## 24 青森市における競輪事業収益の主な活用実績例

◆競輪の収益は、地域社会のさまざまなところで、役立っています。

人材育成に(青森公立大学交流会館)



健康づくりに(元気プラザ)



娯楽レジャーに(モヤヒルズ)



その他、「道路の整備」や「市民センター建設」などにも活用。

委託(運営)会社による 地元雇用者数 (平成26年4月1日現在)	301人
--	------

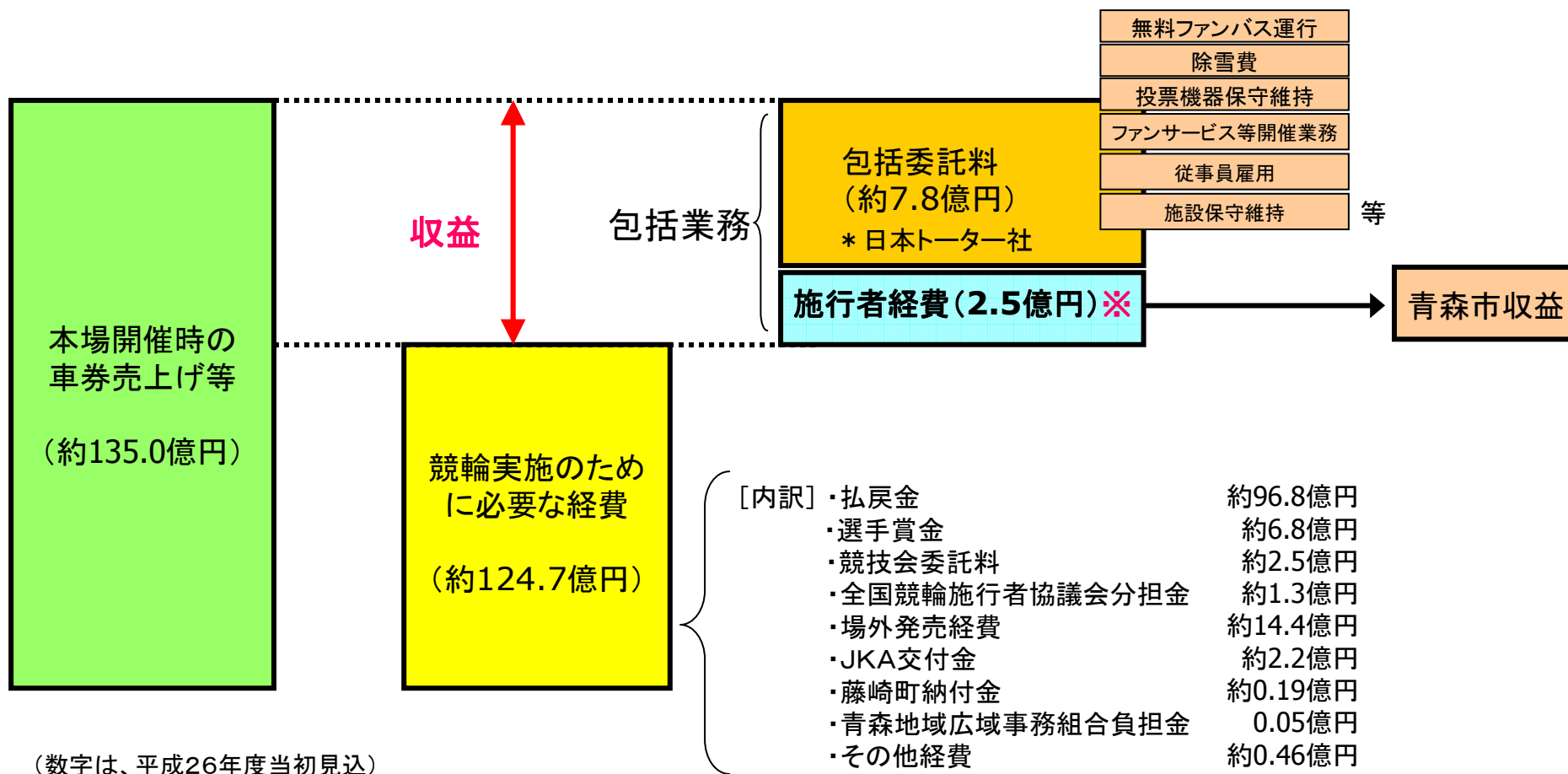
青森競輪の従業員数は、

- 市内の「百貨店、総合スーパー」、1店舗あたりの従業者数(328人)の約92%。
- 市内の製造業の1事業所あたり従業者数(16人)の、約19倍。

○参考データ

	事業所数(店舗)	従業者数	1事業所あたり	統計名
市内の百貨店、総合スーパー	4店舗	1,313人	328人	H19商業統計
市内の製造業	493事業所	7,871人	16人	H24経済センサス活動調査速報集計 (事業所に関する集計)

※「百貨店、総合スーパー」とは、衣・食・住にわたる各種商品を小売し、そのいずれも小売販売額の10%以上70%未満の範囲内にある事業所で、従業者が50人以上の事業所をいう。「製造業」とは、従業者4人以上の事業所をいう。



※車券売上額が180億円(本場開催+場外開催)を超えると一定額増額  
【参考】平成25年度の売上額は約203億円(本場開催+場外開催)

## 青森競輪の課題

## 【総論】

青森競輪を含め全国的に、車券の売り上げは引き続き減少が続いている。次期包括委託契約の条件によっては、平成26年度以降に一般会計に繰入れが行えないことも考えられ、財政目的を果たせない公営競技事業となる可能性があり、競輪事業の存続、廃止を検討する必要がある。しかしながら、財政目的を果たせない公営競技事業であっても雇用や地域経済への影響及びまちづくりの観点も併せて検討する必要がある。

## 【各論】

- 本場は市街地から離れており、また公共交通機関の利用ができないことにより生じるコストの解消策の検討。(無料ファンバスを運行し、冬季は施設内の除雪を行っていることから高コストとなっている。)
- 安方前売SCが利用者数の多い施設にも関わらず利用者がくつろいだり、レース映像を見ながら車券購入したり、当日の払戻しができないため、十分に満足できるような施設となっていない。
- 安方前売SCが中心市街地に立地しているのにも関わらずまちづくりに活かされていない。
- 本場、安方前売SC、藤崎場外車券売場の施設を競輪イベントの開催ばかりでなく、体育・社会福祉などの公益の増進に利用するといった活性化策が必要である。
- 一部関係者を除き、競輪の運営状況が市民に十分に知られていない。
- 平成19年度から実施した民間包括委託の導入により、業務実施面では一定のコスト削減効果があったことを踏まえ、平成26年度からどのように対応するか。

## 今後のあり方(結論)

次の理由から競輪事業については“**当面存続**”とする。

- 機械的に行った収支見通しにおいては最も悲観的な試算でも平成45年度に特別会計の資金が枯渇し、一般会計の負担が発生するという試算であることから**現時点では廃止と結論付けるのは時期尚早**である。
- 青森市において競輪事業を実施することにより青森市内だけでなく藤崎町を中心とする津軽地方に**広く雇用や地域経済効果をもたらしていることを考慮すれば、これらの効果を税負担なしに実現をしていることは青森競輪の存在意義の一つ**である。

## 今後、存続して行く上での取り組むべき事項

- 競輪事業の収益やその用途などの広報周知
- 払戻金や交・納付金の法定経費など市独自の裁量が効かない経費以外の経費の見直し
- 引き続き、民間のノウハウを活用し、より良い「効率的な運営」と「更なる活性化（市民に親しまれる青森競輪）」の取り組み
- 安方前売SCの場外車券売場化の検討

ただし、次の点について十分に留意すること。

- ・今後、具体的な検討の中で投資規模等が明らかになった段階で再試算を行い、その上で**長期的なメリットがあると判断された場合のみ場外車券売場化を実施すること。**
- ・**場外車券売場の場所は、メリットの一つに上げられているファンバスの廃止を考えれば、公共交通が便利な場所に検討を行うこと。**
- ・中心市街地地区で場外車券売場化を行う場合は中心市街地活性化にどのように資するかも検討を行うこと。
- 青森競輪施設の公益の増進(体育・社会福祉など)に資する有効活用
- 新たな外部委員による検討会の設置**  
今後も競輪事業の先行きに不透明な部分があるが、競輪事業の実施により地域経済、雇用などの寄与もある。  
したがって、青森競輪を取り巻く環境が大きく変化した際には、**新たに外部委員による検討会を設置することが望ましい。**

「青森競輪事業のあり方に関する報告書」を踏まえ、今後の青森競輪の運営方針を下記のとおりとする。

## 運営方針

### 1. 青森競輪の存廃について

平成25年度末をもって、現在の包括委託契約の期間が満了した後の平成26年度以降の青森競輪の存廃については、一般会計から競輪事業特別会計への繰出金(いわゆる税負担による運営を指す)が生じない限り、仮に、競輪事業特別会計から一般会計への繰出金や関係地方団体への交付金の支出が行えなくなったとしても、青森競輪のもつ雇用や経済効果等の役割に鑑み競輪事業を継続することを基本とする。

### 2. (仮称)青森競輪経営企画委員会の新設について

青森競輪の経営の重要事項について継続的に外部有識者等の意見を取り入れるため(仮称)青森競輪経営企画委員会(以下「経営企画委員会」という。)を設置することとする。  
経営企画委員会の役割は、青森競輪の経営上の重要事項について諮問に応じ市長に意見を述べることとする。

### 3. 新場外車券売場の設置検討について

青森競輪の長期的に見た経営コスト削減やファンサービスの向上等の観点から、安方前売サービスセンターの廃止を前提とする新場外車券売場設置の具体的な検討を行うこととする。その際は税負担がない計画になることを前提とし、その前提を満たさない場合は新場外車券売場の設置は行わないこととする。

また、新場外車券売場の立地についてはコスト削減メリットを十分に発揮するために市内の公共交通の便が良い地域を選定することを基本とし、同時に青森市の街づくりの視点も考慮しつつ検討を進めることとする。

なお、新場外車券売場の設置に当たっては、経営上の重要事項として経営企画委員会の意見を聞きながら進めるとともに、市民、議会とも十分に意見交換を行うこととする。

### 4. その他

青森競輪の各施設について、より市民に身近な施設となるよう更に努めることとする。

**【目的】**

青森競輪の運営方針に基づき、経営上の重要事項について継続的に外部有識者等の意見を取り入れるため、青森競輪経営企画委員会を設置する。

**① 所掌事務**

- ・ 市長の諮問(競輪場の存廃をはじめ競輪事業を経営する視点で重要と判断する内容)に応じ、青森競輪の経営に関し基本方針等について答申する。
- ・ その他青森競輪の経営に関する重要事項及びその活性化について市長に意見を述べる。

**② 委員会構成メンバーについて**

学識経験者	経済団体・公共団体	その他市長が必要と認める者
1名	2名	3名

**③ 委員の任期**

2年間(第2期委員の任期:平成26年4月1日から平成28年3月31日まで)

- ◆ 施設の有効利用の一環として、**“本場ならではの立地特性(住宅街から遠く離れている)の利点”**を最大限に活かして、**「ミッドナイト競輪」**を開催しミッドナイトファンの確立を図ることで、新規顧客を獲得し競輪事業の持続性を高め、**「青森競輪場の認知度アップ」**につなげることを目的に実施する。
- ◆ 全国43競輪場のうち、ミッドナイト競輪を行っているのは、ドーム型では前橋競輪場と小倉競輪場、**屋外型では「青森競輪場」が全国初。**
- ◆ レースは近隣への雑踏等を考慮して観客を入れないが、インターネットでライブ中継され、車券はインターネット投票等による発売。若者層らにファン層を広げる狙いがある。
- ◆ 平成24年度は1節2日間開催、平成25年度は6節13日間開催、平成26年度は8節24日間(枠内開催6節18日間、枠外開催2節6日間)を開催予定。



#### ◆ミッドナイト車券売上げ

	車券売上額	達成率
1日あたり目標額	50,000,000円	—
平成24年度1日平均	56,053,600円	112%
平成25年度1日平均	62,260,500円	125%

#### ミッドナイト競輪のメリット

##### ・ミッドナイト競輪の優位性

- ・公営競技の中で、唯一深夜の時間帯に開催。

##### ・開催経費圧縮

- ・選手賞金の削減(日中開催の出場選手80名に対し、ミッドナイト競輪の出場選手は49名)
- ・場内車券発売や警備、無料送迎ファンバスの運行が不要。



# 31 青森競輪 ガールズケイリン

## 新たなファンサービスの提供

ガールズケイリン(GIRL'S KEIRIN)は、平成24年7月からスタートした。ロンドンオリンピック(2012年)から正式種目となり、女子のプロスポーツ活動の枠を広げてくれることが期待されている。

★平成25年度 2開催

- ・女子選手が出場するレースは、1日に2レース
- ・青森県出身の女子選手1名もレースに出場

★平成26年度上半期 3開催

- ・ミッドナイト競輪開催時、1日に2レース



●青森ガールズケイリン 入場者数及び車券売上

	青森ガールズケイリン(FⅡ)		青森通常レース(FⅡ)
	本場入場者	車券売上額	1開催平均(※)
平成25年 7月19日(金)～21日(日)	4,081人	156,165,300円	本場入場者 1,925人
9月6日(金)～8日(日)	2,421人	147,503,200円	車券売上 85,560,600円

※特殊要因…開幕レース(開幕イベント)を除く。



ガールズケイリン時  
イベントの様子

キッズ応援団



多数の親子連れがレース観戦  
レースの応援に参加することで競輪がより身近に

【ガールズケイリン効果】

通常レース時と比べ、本場入場者及び車券売上が伸びた。

「ピクニックにおいでよ」  
青森けいりん!



### こどもの広場

子どもが大好きな 具がいっぱい！オススメは、高さ10m・全長30mのなが〜いすべり台は、大人もきっと楽しめるはず。アスレチック 具も楽しそう♪



### 青森 輪場温泉

レース 催の数日前から選手たちが宿泊する施設。お風呂はなんと天然温泉が！ 開催の土・日・祝日は、券(1枚〜)を入された方であれば一般の入浴もOK!



### ピクニックコート

なんと場内でバーベキューが楽しめるって知ってました？ベンチやコンロは貸出無料！目の前にはバンクがあるので、BBQを楽しみながらレースも観戦できますよ。



### ねぶた展示

平成23年度優秀制作者賞と観光コンベンション協会賞をW受賞した「韋駄天」を展示。輪を観戦しながら楽しむことができますよ。

その他にも森に  
囲まれた競輪場  
には“わくわく”  
がいっぱい

### その他の集客イベント・ファンサービス事例など

- ・好評「緑と花の日曜祭(「子ども向けショー」や「食イベント」)
- ・女性向け「食事付きの初心者競輪教室(Go! Go! Keirin)
- ・家族で散策を楽しめる遊歩道、ハーブの丘
- ・家族で楽しみながら作る「棒パン」
- ・夏場のプール開設、おもしろ自転車、子ども遊具
- ・JomonBankサイクルチャレンジカップ(子ども参加)、
- ・自転車競技強化練習などの競輪場利用(高校総体、国体予選)
- ・雪上青森「エンデューロ」チャレンジCUP
- ・遠足の場所として提供(保育園・幼稚園)



エンデューロの風景

# 33 青森競輪開催日程

平成26年度（上期）

## 青森競輪開催日程表



自場			
記念	S級	普通	ミッドナイト
GIII	FI	FII	FII

場外					
特別	記念	S級	全プロ	S級ナイト	普通ナイト
GI	GIII	FI	FII	FI	FII
GII					

下段は全レース併売となります。

日程等は都合により一部変更する場合があります。

4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	西武園記念				福井S級★		高知記念				伊東	武雄記念		① 青森	豊橋	共同通信社杯						西武									
四日市ナイト				小田原S級★		久留米ナイト				平塚ナイト		豊橋S級		和歌山S級		(GII) 伊東温泉				函館ナイト											
5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	西武園S級	平塚記念				岐阜S級	松阪記念				名古屋S級		① 青森		③ 青森		別府記念		弥彦	川崎記念											
函館		② MN		千葉S級		西武園S級		全プロ		JomonGP		京王閣ナイト		松戸ナイト		② MN															
6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	川崎記念	千葉S級★				川崎GIII 花月園メモリアル		奈良S級		高松宮記念杯 (GI) 宇都宮		⑤ 青森		久留米記念		⑤ 青森		青森													
④ MN				前橋S級		④ MN		松山S級		函館ナイト		取手記念		小倉ナイト																	
7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	⑥ 青森 坂本勉カッパ	小松島記念				取手S級		福井記念		前橋S級		寛仁親王牌 (GI) 弥彦		伊東温泉S級		函館記念		松阪S級	京都記念												
小倉		京王閣ナイト		玉野S級		⑦ MN		いわき平ナイト		⑦ MN		富山S級																			
8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	京都向日町記念		武雄S級		静岡S級		⑧ 青森		小田原記念		立川S級		豊橋記念		⑧ 青森		富山記念														
川崎ナイト		西武園S級		SNF 松戸		いわき平ナイト		京王閣ナイト		佐世保S級		小倉ナイト		岐阜S級		函館ナイト															
9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	岸和田S級		⑨ 青森		宇都宮S級		京都S級		オールスター (GI) 前橋		小田原S級		岐阜記念		弥彦S級		⑩ 青森 みちのく記念														
函館		松阪S級		⑬ MN		広島S級		函館ナイト		高松S級																					

★ 福井S級 小田原S級 4月9日～11日 ★ 千葉S級 6月2日～4日

青森本場では発売を行いませんのでご了承下さい(藤崎場外・安方前売SCのみ発売)